

いのちを見つめ、自立に向かう子どもの育成

～主体的に自己を見つめ、共に学び合う道徳学習の工夫～

福山市立金江小学校

1 研究主題

いのちを見つめ、自立に向かう子どもの育成
～主体的に自己を見つめ、共に学び合う道徳学習の工夫～

2 主題設定の理由

今、子どもたちは、変動の激しい社会状況の中で、自然な道徳性の発達が阻害されやすくなっている。つまり、生命を尊重する心を基盤とした自立心、自己責任、善悪の判断など基本的なモラルや、他人を思いやる心、社会貢献の精神などの社会生活上のルールを意識が低下してきている。

また、自分がかげがえのないひとりの人間であるという存在感が薄らいだり、自己実現の喜びを見失っている子どもが増えてきており、子どもたちの心の活力は弱まる傾向にある。

本校においても、同様の状態があり、自分に自信が持てない子、自他の良さを認め合えない子、夢や目標を持っていのちいっぱい輝かせようとする意欲に乏しい子どもが多く見られる。

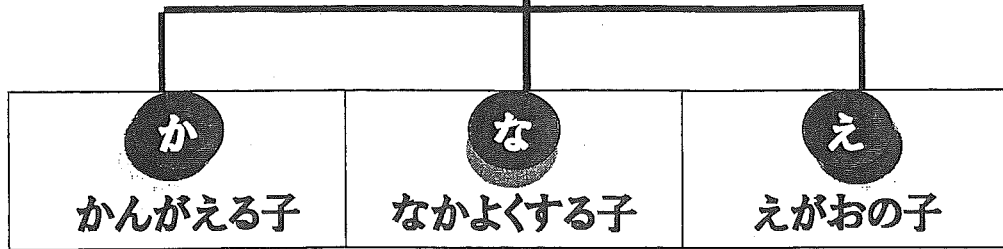
本校はこれまで、道徳の時間を中心に、主体的に自己の内面を見つめ道徳的価値の自覚を深めるために、資料分析や発問構成、学習活動の工夫などの取組みを進めてきた。その結果、自己内対話の姿が多く見られるようになり自己内省力も深まってきた。しかし、友達の考え方や生き方から学び、自己の生き方についての考えを深めるまでには至っていない。

また、いのちやキャリアの視点から道徳学習プログラムを作成し実践してきたが、体験学習の不十分さとともに子どもの意識の流れもうまく関連づけられず、自他を尊重する心や自立心の育ちに十分つなげられなかった。

そこで、今年度は、学び合いが深まるように工夫をしたり、道徳的実践力につながる学習プログラムの展開になるよう工夫したりすることによって、いのちを見つめ、自立に向かう子どもを育てたいと考え主題設定をした。

かなえ—研究の構想図—

進んで学ぶ豊かな子の育成



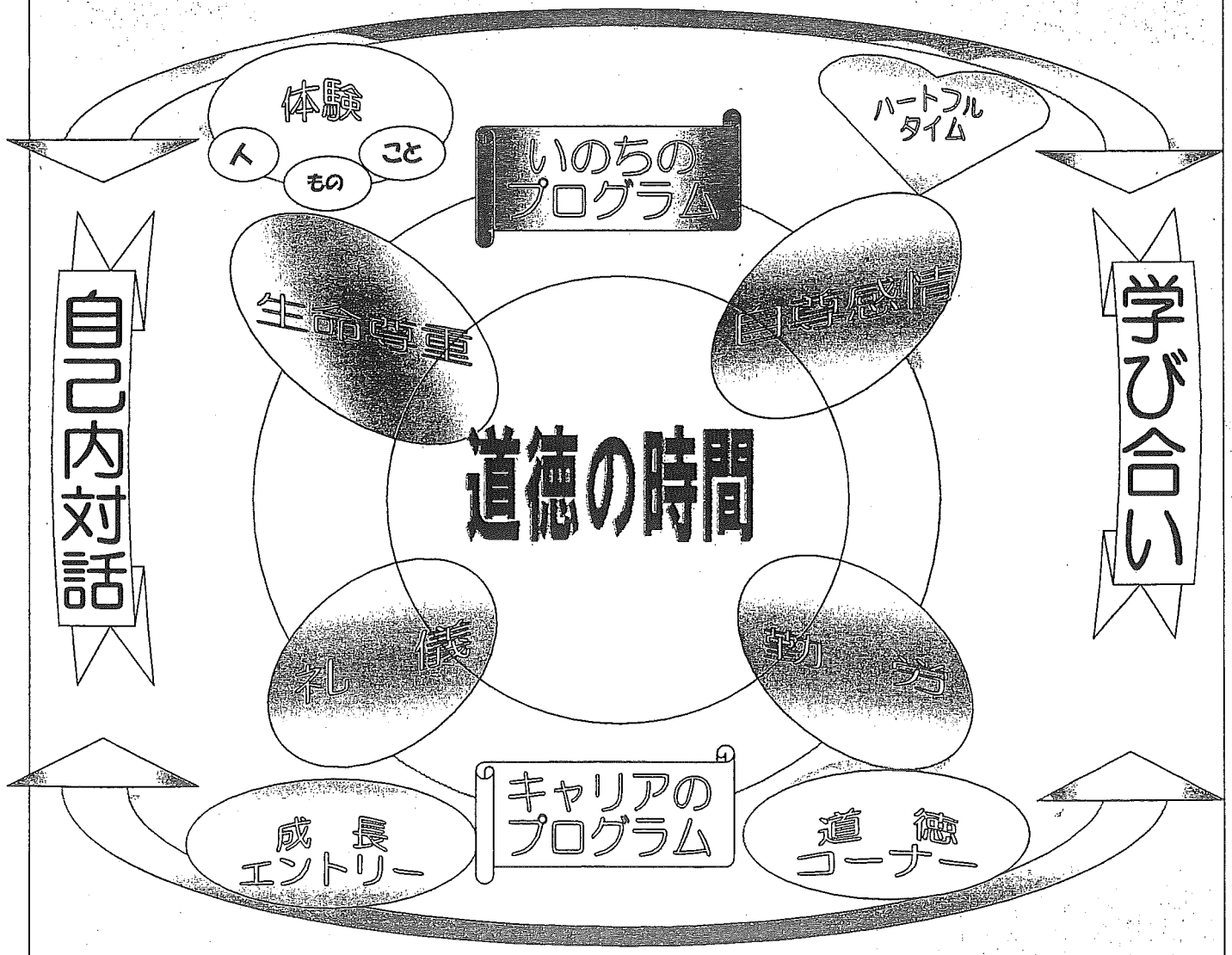
いのちを見つめ、自立に向かう子どもの育成

～主体的に自己を見つめ、共に学び合う道徳学習の工夫～

指導内容の充実

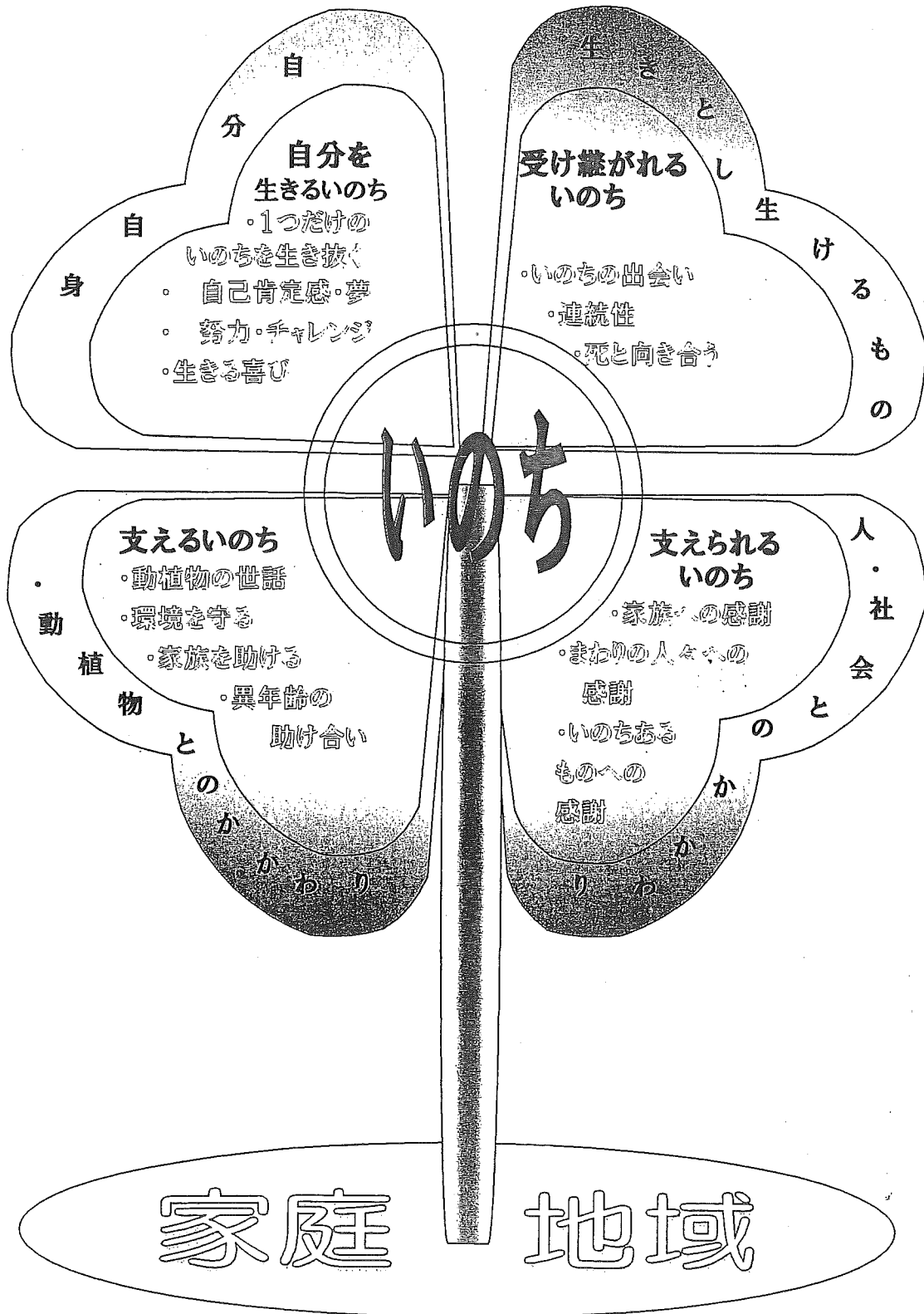
自己内省力の育成

道徳性を育む環境づくり



家庭や地域との連携

いのちの構想図



5 研究仮説

人・もの・ことにかかわる体験活動を通し、
自己を見つめ、共に学び合う道徳学習の工夫をすれば、
いのちを見つめ自立に向かう子どもが育つであろう。

6 検証

(1) 成果の指標

- ①生命尊重の肯定的評価を90%以上にする。
自尊感情の肯定的評価を85%以上にする。
礼儀の肯定的評価を85%以上にする。
勤労の肯定的評価を85%以上にする。
- ②道徳的価値の自覚が深まったと実感する児童のYES回答を80%以上にする。
- ③授業での児童の学び合いを65%以上にする。(授業記録簿の見取り)
- ④道徳の時間に学んだことを生活の中で生かそうとする児童のYES回答を80%以上にする。

(2) 検証の方法

- ・児童の道徳意識調査と分析 (7月と12月)
- ・児童への内容項目別アンケート調査と分析 (12月)
低学年15 中学年18 高学年22項目を4段階評価アンケート
- ・保護者へのアンケート実施 (12月)
- ・記録簿における自己内対話、学び合いの分析
- ・検証授業の実施と分析
授業分析シートの活用

7 研究内容

指導内容の充実

- (1) 道徳の時間の年間指導計画の改善
 - ・児童の実態や発達段階にあった道徳資料を選択する。
 - ・価値項目と教科等との関連表を作成し、関連づけていく。
- (2) いのちやキャリア教育と関連づけた道徳学習プログラムの改善
 - ・「生命尊重」「自尊感情」「礼儀」「勤労・奉仕」の4つのプログラムを見直し、改善する。
 - ・プログラムの児童意識をつなぐため、プログラムのワークシートを活用する。
- (3) 自作資料の開発
 - ・「人、もの、こと」とのかかわりや体験活動を生かした資料を開発、自作する。
 - ・道徳学習プログラムでの自作資料を見直し、改善する。
- (4) 心のノートの有効的な活用
 - ・道徳の時間・各教科や特別活動・総合的な学習の時間等で、心のノートを活用する。
 - ・心のノートの活用表を見直し、改善する。
 - ・道徳コーナーで有効的に活用する。

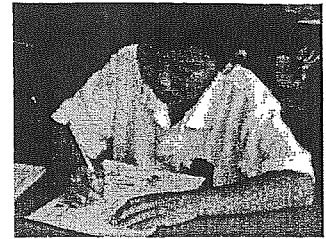
自己内省力の育成

- (1) 資料研究
 - 資料分析
 - ・主人公や登場人物の気持ちの変容を中心に分析する。
 - ・資料のどの場面を中心に道徳的価値について考えさせるのかを分析する。
 - 発問構成
 - ・資料分析をもとに、ねらいに迫る中心発問・基本発問・補助発問を構成する。
 - 板書計画
 - ・子どもの思いを整理し、考える支援となるように工夫する。
 - ・子どもの発言内容を類型的に整理したり、対立的・対比的に整理したりする。
 - ・資料の内容を把握するため、場面絵や言葉カードを活用する。
 - ・主人公の気持ちの変化を捉えられるよう、心情曲線・心情グラフなど工夫する。
- (2) 学習活動の工夫
 - 【 表現活動の工夫（動作化や役割演技） 】
 - ・動作化を通して主人公の気持ちに共感する。
 - ・お面やペープサート等を用いた役割演技を通して、主人公になりきることで、主人公に自分を重ね、自分の思いを表現する。



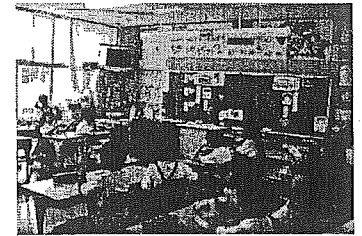
【 書く活動の工夫 】

- ・自己内対話しながらじっくり考えをまとめることができるようにワークシートを工夫する。(挿絵や吹き出し等の利用)



【 話し合いの工夫 】

- ・ネームプレート、ハートものさし、心情グラフを用いて、自分の思いを表示したり変容を表現したりして、話し合いを深める。
- ・カラーカードを用いて、自分の思いを即時に表示する。色別での話し合いにも活用する。
- ・一人ひとりの思いを出しやすくするために、ペアやグループ等の話し合いの形態を工夫する。



(3) 学び合いの工夫

○揺さぶり発問・繰り返し発問の工夫

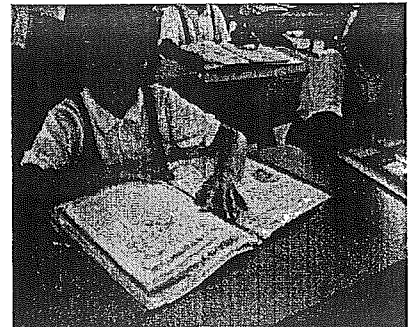
- ・児童の反応をできるだけ多く予想し、価値に迫れるような補助発問を準備する。
- ・資料研究の際、価値に迫るキーワードは何か、繰り返すキーワードは何か、揺さぶるキーワードは何かを明確にする。

○意図的指名の活用

- ・書く活動でワークシートを取り入れる際、座席表カルテにより価値レベルを把握し、様々な価値に出会えるように意図的に指名する。
- ・生活や体験を振り返らせたり、現在の自分や今後の自分を語らせたりする。

(4) 自分みつめポートフォリオの充実

- ・月に一度のハートフルタイムでは、全校児童が一斉にポートフォリオの作成に取り組み、自分みつめや友達みつめの時間とする。
- ・よりよく生きようという視点で、主体的にポートフォリオづくりを行い、自分のがんばりや成長を実感しながら振り返る。
- ・友達や家族からみた成長や励ましの言葉も綴り、自己肯定感につなげる。



(5) 評価の工夫

- ・成長エントリーによる自己評価や相互評価を行う。
- ・授業記録簿による自己内対話と学び合いの見取りを行う。
- ・道徳的実践力を見取る道徳アンケートを行う。

【 学習展開 】

	児童の姿	各段階の指導の工夫・具体的な手立て
ふれる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価値にふれる。 ・ 資料に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前アンケート結果や体験活動から話題提示 ・ 視聴覚機器, 新聞, 写真等の提示 ・ 心のノートの活用 <p style="text-align: right;">板書の工夫</p>
考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主人公を取り巻く状況を読み取る。 ・ 主人公の気持ちに共感する。 ・ 自分の考えや思いを表現する。 ・ 自分の思いと友だちの思いを比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料提示の工夫 (紙芝居・効果音・ペープサート・範読・場面絵) ・ 発問の工夫 (基本発問・中心発問・補助発問) ・ 表現活動の工夫 (役割演技・動作化等) ・ 話合いの工夫 (カラーカード・ペア・グループ) ・ 書く活動の工夫 (手紙・ワークシート等)
深める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主人公の生き方と今までの自分を重ね合わせて考える。 (自己内対話) ・ 友達の思いから学び合う。 同じ思い 異なる思い 浅く→深く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び合いの工夫 「考える」の児童の発言を生かす。 主人公, 友達から学んだことは何か考えさせる。 ・ 意図的指名 (事前アンケートをもとに)
あたためる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余韻を残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の説話, ゲストティーチャーの話 ・ 視聴覚機器, 新聞, 写真等の提示 ・ 手紙や日記の紹介 ・ 音楽, 効果音の活用 ・ 心のノートの活用

道徳性を育む環境づくり

子どもたちの道徳性を育むためには、子どもたちを取り巻く環境が大きな意味をもつ。子どもたちに心あたたまる環境・心を耕す環境・心に響く環境を作っていくことが大切である。

(1) 道徳コーナー・掲示の工夫

各学級と学校の道徳コーナーを設け、道徳の時間を話題にしたり、日常的にも立ち止まって考えたりできるようにする。道徳コーナーには考えたことや主題などを書いたカードや短冊、教具、挿絵などを掲示する。また、心のノートも有効的に活用する。

道徳学習プログラムでは、道徳の時間に感じたことや他の学習や常時活動などで考えたことを掲示し、意識の流れをつないでいく。



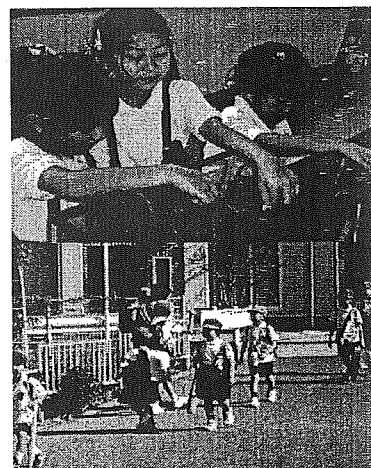
(2) 体験の場の工夫

体験活動で得られた感動をもとに道徳の時間に語り合ったり、道徳の時間に育成された道徳的心情や態度が体験の場で生かされたりすることが大切である。

○栽培活動・飼育活動

1～4, 6年生は野菜づくり, 5年生は米づくりを体験することにより, 自然に親しみながら, 勤労・生命尊重等の心を育む。

ざりがに, めだか, 昆虫などを飼育し, 愛情を持って育てることにより, いのちを見つめる心を育む。



○フレンドシップ活動

・あいさつ活動

6年生を中心に毎朝, あいさつ活動に取り組む。児童会執行部からの提案により, 全校児童で, 自分からハキハキあいさつをしようとしている。また, 場に応じたあいさつについて考える時間を設け, 礼儀正しい行為ができるよう育てる。

・異年齢のふれあい活動

児童会活動として, お迎え遠足, 収穫祭, 6年生を送る会や年4回の縦割り活動(のびのび集会)を行ったり, 大休憩時に児童会執行部による全体遊びを行ったりしている。友達と仲良くする心・思いやりの心・役割の自覚および責任感を育む。



・ハーモニータイム

学級では, 朝の会や帰りの会で今月の歌を歌い, 全校集会での歌声につなげる。歌詞の心を大切にし, 共に歌声を響き合わせていく心地よさを感じながら, 豊かな感性を育む。

(3) 家庭・地域とのパートナーシップ

家庭, 地域の方々に道徳の時間や道徳教育に関する取組みに参加してもらい, 学校・家庭・地域の三者で児童の道徳性を育む。

- ・手紙や成長エントリー, ポートフォリオへのメッセージなど, 児童へのあたたかい言葉や励ましの言葉をかけてもらう。
- ・保護者や地域の人にゲストティーチャーとして道徳の授業に参加してもらう。
- ・パートナーシップ計画表を作成し, 家庭, 地域とつながりをもつ。
- ・学級通信で道徳の時間や学習プログラムについて伝えたり, 家での様子を知らせてもらったりする。

じどうのみなさんへ(1・2年生)

よくかんがえて、あてはまるすうじに○をしてください。

4・・・そうおもう 3・・・だいたいそうおもう 2・・・あまりおもわない 1・・・まったくおもわない

	こうもく	すうじに○をします			
		4	3	2	1
1	つくえのなかをきれいにしている。	4	3	2	1
2	べんきょうやとうぼんのしごとをさいごまできちんとしている。	4	3	2	1
3	よいこととわるいことがわかり、よいことをすすんでしている。	4	3	2	1
4	うそをついたり、ごまかしたりしない。	4	3	2	1
5	ともだちやせんせいやかぞくに大きなこえであいさつをしている。	4	3	2	1
6	としたの子やおじいちゃんおばあちゃんに、しんせつにしている。	4	3	2	1
7	ともだちとなかよくし、たすけあっている。	4	3	2	1
8	おかあさん・おとうさん・おじいちゃん・おばあちゃんにありがとうのきもちをつたえている。	4	3	2	1
9	いきものや花のせわをし、たいせつにしている。	4	3	2	1
10	じぶんのいのちをたいせつにしている。	4	3	2	1
11	けしきを見たりおんがくをきいて、「きれいだな」「すてきだな」とおもう。	4	3	2	1
12	がっこうやがっきゅうのやくそくやきまりをまもっている。	4	3	2	1
13	いえのてつだいをしている。	4	3	2	1
14	せんせいとはなしをしたり、がっこうでせいかつするのがたのしい。	4	3	2	1
15	かなえのおまつりやちいきのぎょうじにさんかして、たのしい。	4	3	2	1

じどうのみなさんへ(3・4年生)

よく考えてあてはまる数字に○をしてください。

4・・・そう思う 3・・・だいたいそう思う 2・・・あまり思わない 1・・・まったく思わない

	項目	数字に○をします			
		4	3	2	1
1	みのまわりのかたづけや学校のじゅんびなど、自分一人ではできることは自分でしている。	4	3	2	1
2	よいことかわるいことか考えて行動し、自分がわるかった時には「ごめんなさい」がすなおに言える。	4	3	2	1
3	やろうときめたことは、さいごまであきらめずにやり切っている。	4	3	2	1
4	正しいと思ったことはゆう気をもっておこない、正しくないと思ったことはゆう気をもってやめる。	4	3	2	1
5	うそをついたり、ごまかししたりしないで自分の気持ちを正直に伝えている。	4	3	2	1
6	友達や先生やかぞくやちいきの人にたいして、心のこもった気持ちのよいあいさつをしている。	4	3	2	1
7	あいての気持ちを考えて、やさしく親切にしている。	4	3	2	1
8	だれとでもなかよく、きょうりよくしたり、助け合ったりしている。	4	3	2	1
9	お年よりにかんしゃの気持ちをもってせっしている。	4	3	2	1
10	動物や植物を大切にしている。	4	3	2	1
11	自分の命や命あるものを大切にしている。	4	3	2	1
12	すてきなけしきを見たりきれいな音楽を聞いたりして感動することがある。	4	3	2	1
13	みんなで使う物を大切にしたり、学校・学級のやくそくやきまりを守っている。	4	3	2	1
14	進んで当番や係の仕事をしている。	4	3	2	1
15	家族のために、自分にできる仕事をしている。	4	3	2	1
16	学級のみんなど協力して、楽しい学級を作ろうとしている。	4	3	2	1
17	金江町のお祭りや行事に進んでさんかし、金江町のいいところと言える。	4	3	2	1
18	日本の文化のよさやすばらしさを感じ、他の国の文化にかんしんをもっている。	4	3	2	1

児童のみなさんへ(5・6年生)

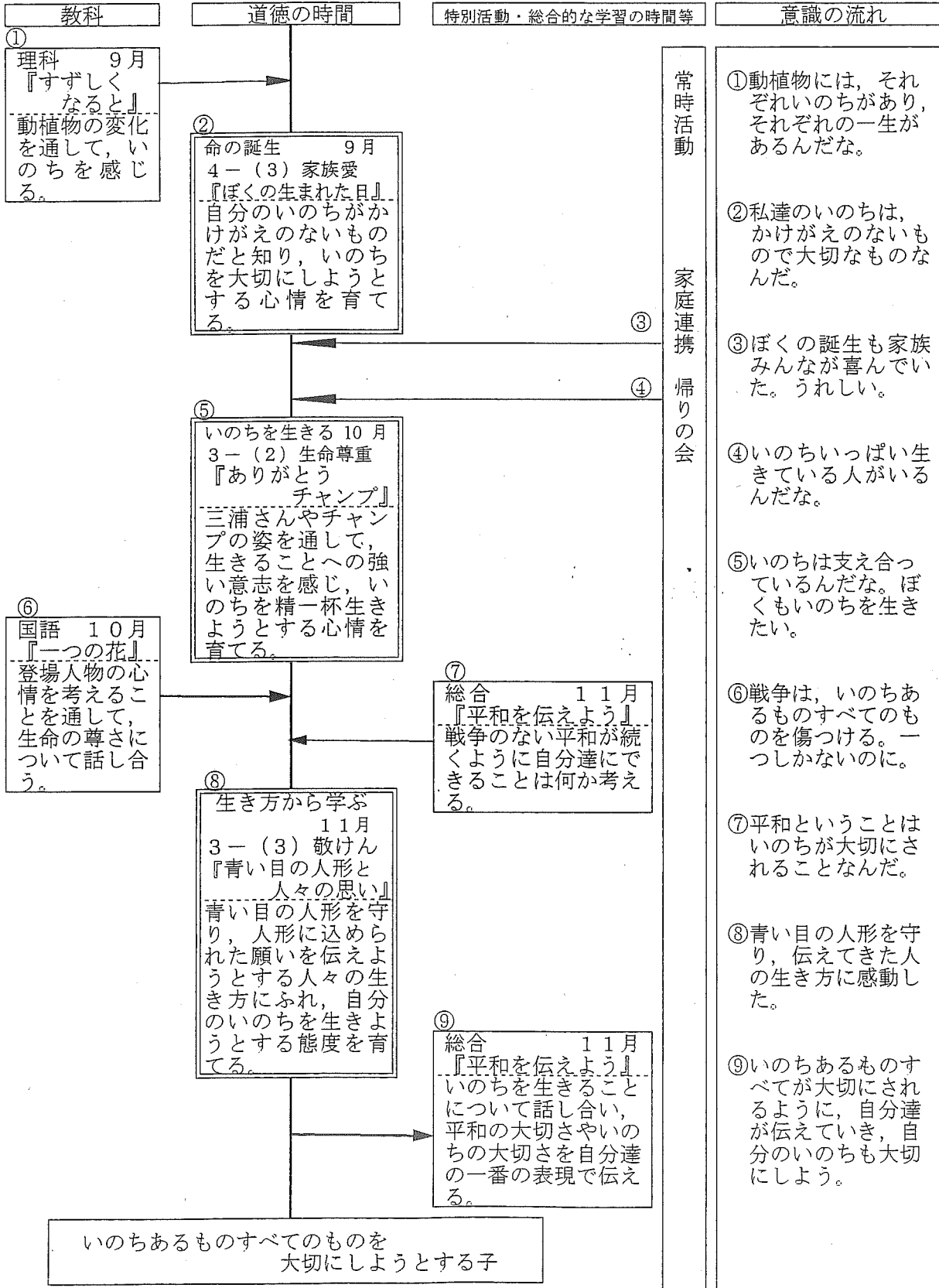
よく考えてあてはまる数字に○をしてください。

4・・・そう思う 3・・・だいたいそう思う 2・・・あまり思わない 1・・・まったく思わない

項目	数字に○をします			
	4	3	2	1
1 よい習慣をつけようと、考えて行動している。(生活リズム・整理整頓・準備など)	4	3	2	1
2 目標に向かって、あきらめないで努力している。	4	3	2	1
3 自分勝手にしないで、周りのことを考えて、行動している。	4	3	2	1
4 自分の悪いところを認め素直に謝り、自分の心に正直に気持ちよく生活している。	4	3	2	1
5 生活をよりよくするためのやり方を考えたり工夫したりしている。	4	3	2	1
6 自分の長所短所を知り、自分の良いところを伸ばそうとしている。	4	3	2	1
7 相手・時・場所を考えて、その時その場に合ったあいさつや行動ができる。	4	3	2	1
8 相手のためになるかを考えて、親切にしている。	4	3	2	1
9 男子や女子の良いところを知り、協力し、助け合っている。	4	3	2	1
10 友達やいろんな人の意見や立場のちがいをみとめることができる。	4	3	2	1
11 家族や周りの人に支えられていることに感謝し、自分にできることをしている。	4	3	2	1
12 自然のすばらしさを知り、自然環境をよくしようと自分にできることをしている。	4	3	2	1
13 命はかけがえのないのものであることを知り、毎日を大切に生きている。	4	3	2	1
14 自然や人間のたいなる美しさ・すばらしさに感動したことがある。	4	3	2	1
15 係・委員会等、学級・学校の中で自分の仕事を責任を持ってしている。	4	3	2	1
16 社会のルールを守っている。(交通ルール・公共施設の利用時)	4	3	2	1
17 だれに対しても平等にせっている。	4	3	2	1
18 学校のため・地域のために、進んでボランティアをしたことがある。	4	3	2	1
19 家族の一員として、自分の役割を自覚し、家族のために家の仕事をしている。	4	3	2	1
20 金江小学校をすばらしい学校にしようと友達と協力して行動している。	4	3	2	1
21 金江町の伝統文化・日本の伝統文化を大切にしていこうとする気持ちがある。	4	3	2	1
22 他の国の文化や言語などにふれ、他の国の文化・言語などを大切にしようとする気持ちがある。	4	3	2	1

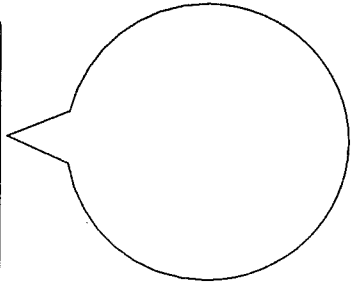
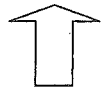
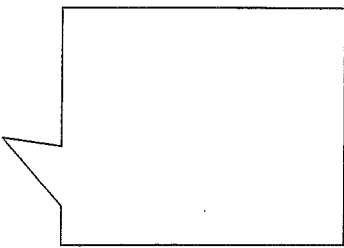
第4学年 道徳学習プログラム (生命尊重)

プログラム名	いのちを感じよう	9月～11月
めざす子ども	いのちあるものすべてのものを大切にしようとする子	中心項目 3-(2) 生命尊重 関連項目 3-(3) 敬けん 4-(3) 家族愛
ねらい	動植物のいのちや人間の生き方にふれいのちを大切に生きようとする態度を育てる。	
プログラム設定の理由 子どもたちは、学級で育てている植物の生長や金魚が元気に餌を食べる姿にいのちを感じている。しかし、自分自身のいのちを大切に生きるということは実感できていない。いのちは自分だけのものではなく様々な人に支えられていることや支え合っていることを知り、いのちあるものすべてのものを大切に、自分のいのちを精一杯生きようとする態度を育てようと考え、本プログラムを設定した。		

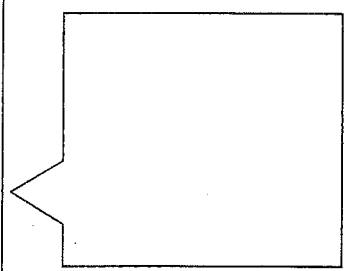
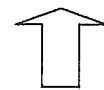


いのちを感じよう

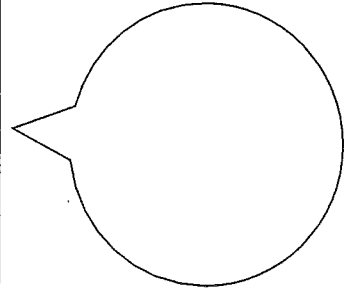
理科「すずしくなると」



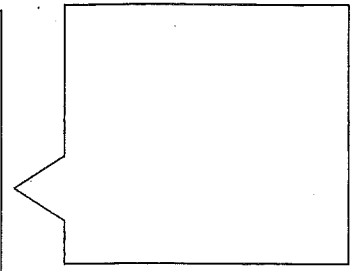
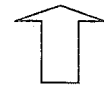
道徳「アルバム」



帰りの会 スピーチ
「いのちを感じる新聞」



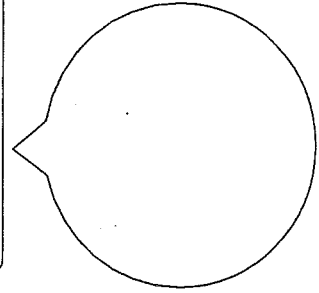
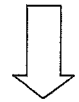
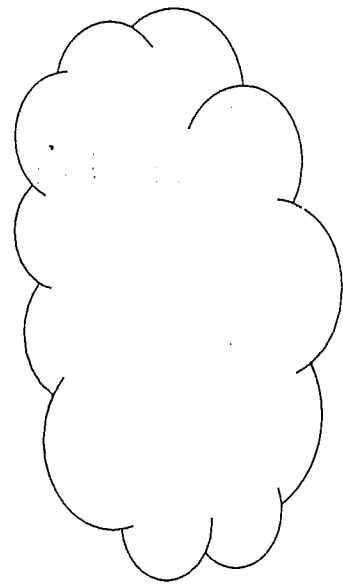
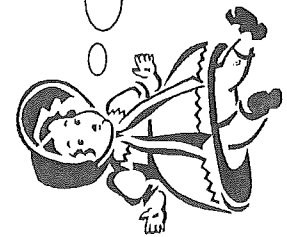
道徳「ありがとうチャンス」



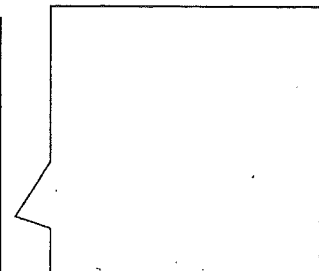
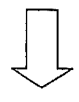
国語「一つの花」



ぞう合「平和を伝えよう」



道徳「青い目の人形」
～いのちを生きる～



ぞう合「平和を伝えよう」

成長エントリー～いのちを感じよう～



() 番 名前 ()

見える成長	見えない成長
1位	1位
2位	2位
3位	3位

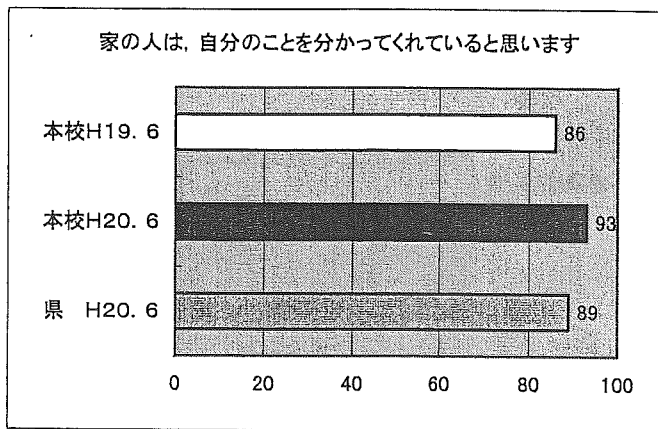
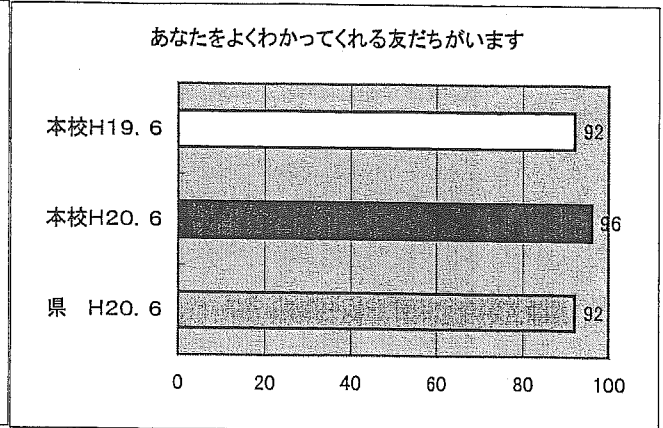
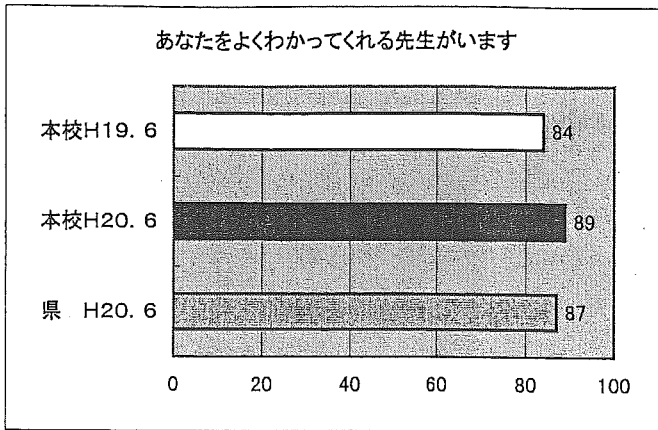
友達から

先生から

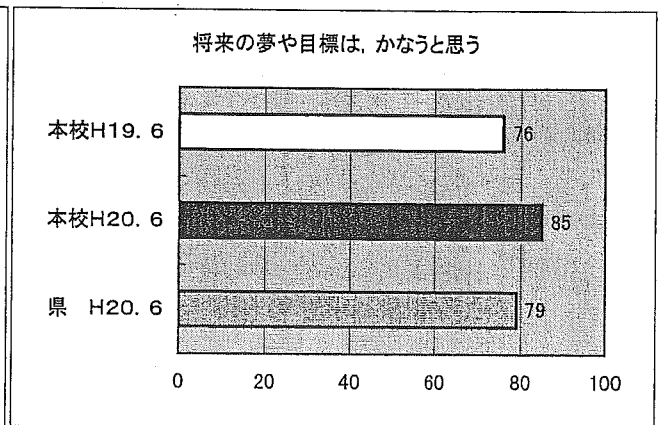
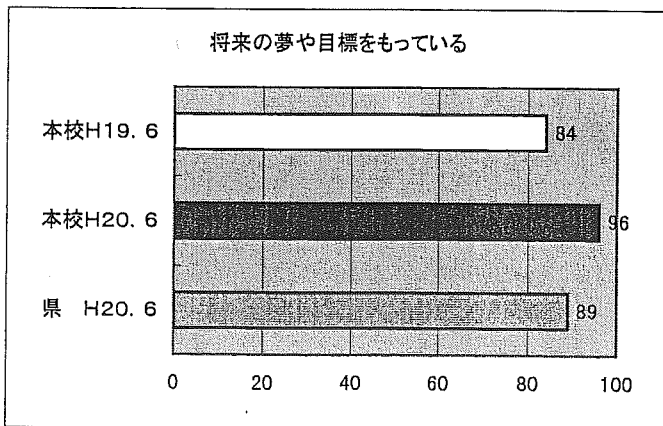
これから生かしていきたいことややってみたいことを書きましょう。

人間関係

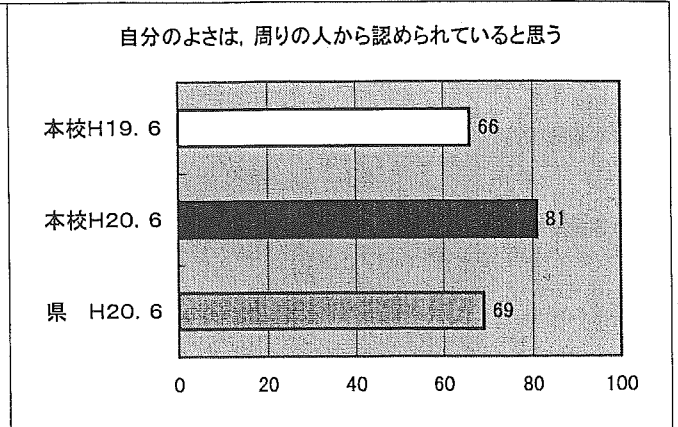
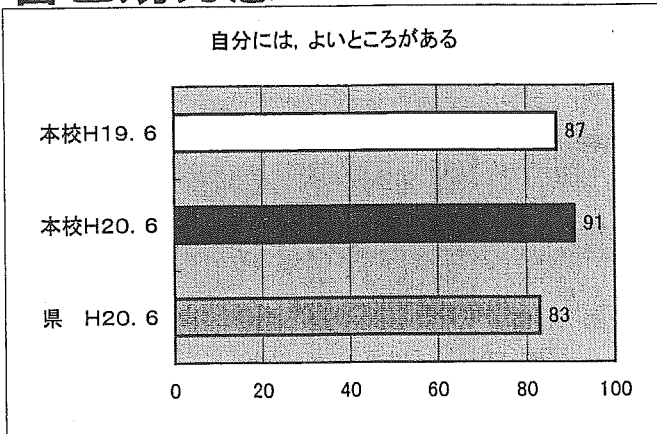
生活などに関する意識調査の結果



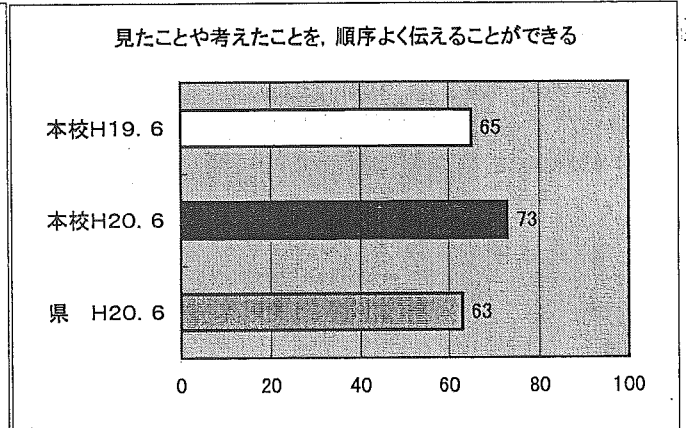
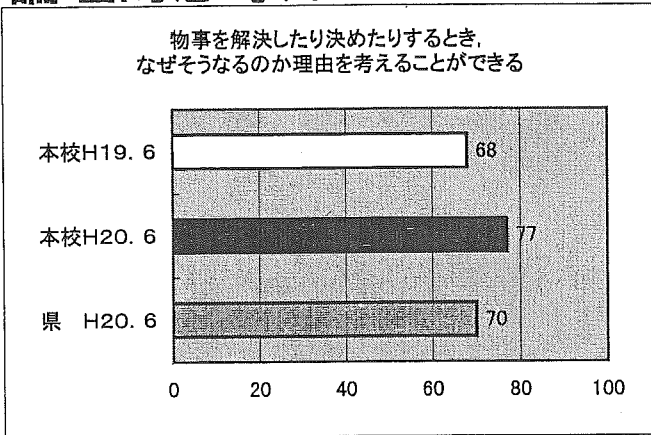
自己実現力



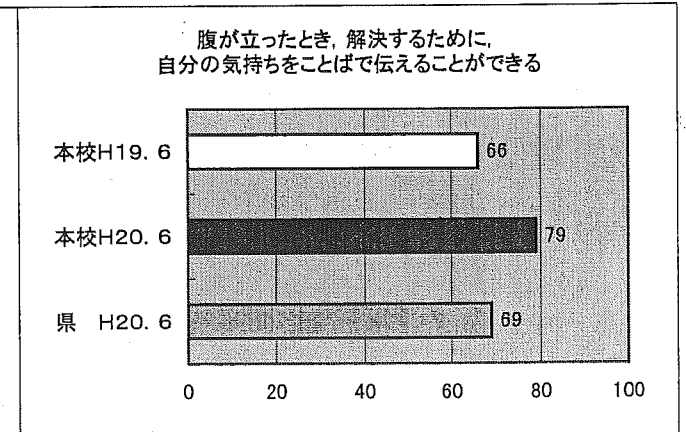
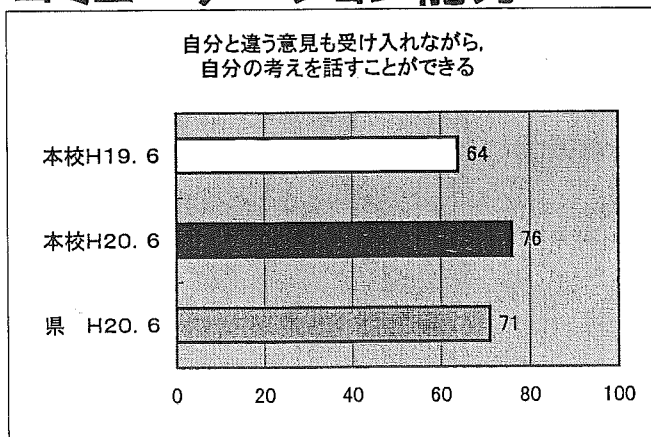
自己効力感



論理的思考力



コミュニケーション能力



県のデータは、道徳教育実践研究事業推進校及び推進地域における意識調査です。